

2019 年度事業報告

2020 年 3 月 31 日
特定非営利活動法人
市民 ZOO ネットワーク

1. 環境エンリッチメント推進事業

●エンリッチメント大賞

第 18 回エンリッチメント大賞の企画運営を実施した。実施経過は以下のとおり。

- ・後援：(公社) 日本動物園水族館協会
- ・募集期間：2019 年 4 月 1 日～5 月 31 日
- ・応募結果：応募総数 50 通 (35 件の取り組みに対し)
- ・審査方法：下記 5 名の有識者による審査委員会を構成した。書面による一次審査を通過した受賞候補に対して、事務局による現地調査をおこなったうえで、審査委員会を開催 (9 月 5 日) して二次審査をおこない受賞者を決定した。
- ・審査委員会：岩田 恵里 氏 (岡山理科大学獣医学部教授)
川端 裕人 氏 (作家)
幸島 司郎 氏 (京都大学野生動物研究センター教授)
佐藤 衆介 氏 (東北大学名誉教授／八ヶ岳中央農業実践大学校畜産部長)
本田 公夫 氏 (元 Wildlife Conservation Society 展示グラフィックアート部門スタジオマネージャー) ※五十音順
- ・審査結果：4 件
 - ▼大賞 総合評価賞：トナカイの放牧飼育を含むエンリッチメント (秋田市大森山動物園)
 - ▼大賞 インパクト賞：Wild me&t Zoo～駆除された動物を動物園のご馳走に～ (大牟田市動物園)
 - ▼大賞 技術賞：海鳥の遊泳を促す採食エンリッチメント (東京都葛西臨海水族園)
 - ▼奨励賞：ニホンカモシカのマーキング行動を引き出すためのにおいを用いた環境エンリッチメント (飯田市立動物園)

●エンリッチメントに係るコンサルティング

動物園等の施設を対象としたコンサルティングは、特に実施しなかった。

●エンリッチメントに係る調査研究、情報提供

第 14 回国際環境エンリッチメント会議 ICEE2019KYOTO を後援し、「エンリッチメント大賞の 17 年」と題してブース出展を行うなど、エンリッチメントに関する情報収集や、マスコミ等への情報提供を随時実施した。

●エンリッチメント大賞 2019 表彰式・受賞者講演会

「エンリッチメント大賞 2019 表彰式・受賞者講演会」を実施した。詳細は以下のとおり。

- ・日時：2019年12月7日（土） 13：30～17：00
 - ・会場：東京大学弥生講堂一条ホール（東京都文京区）
 - ・主催：NPO 法人 市民 ZOO ネットワーク
エンリッチメント大賞 2019 表彰式・受賞者講演会 実行委員会
 - ・プログラム
 - －開会挨拶：川端裕人さん（作家・エンリッチメント大賞審査委員）
 - －表彰式
 - －審査委員講評：審査委員の先生方より、今年のエンリッチメント大賞に対する講評
 - －10周年記念トークセッション：江戸家小猫さん
 - －受賞者記念講演：秋田市大森山動物園、大牟田市動物園、東京都葛西臨海水族園、飯田市立動物園
 - ・特別企画など
 - 一次審査を通過した取り組みについてのポスター発表、各種団体からのブース出展、来場者参加型の写真展、チャリティ・オークション
 - ・受賞記念パーティー：講演会終了後に同会場で開催
- ※実行委員会について：エンリッチメント大賞スタッフグループを中心に実行委員を務めたほか、当日ボランティアなども募り、約30名で実行委員会を組織した。

2. 動物園等に関する調査研究事業

●動物園等に関する調査・研究

動物園関連情報の収集・公開や情報提供をおこなった。

- ・動物園関係書籍、パンフレット、会誌、論文等各種の資料を収集
- ・WEB サイトや Facebook での動物園や研究会情報等の提供

●動物園等に係る各種協力・助言

動物園等の施設を対象とした協力や助言は、特に実施しなかった。

●各種団体との連携

動物園関係のイベントや研究会・出版その他の情報について、広報協力等による連携をおこなった。

3. 動物園等に関する普及啓発事業

●セミナー、勉強会、ワークショップ

市民 ZOO ネットワーク主催のセミナーを以下のとおり開催した。

- 1) 市民 ZOO ネットワーク 10月セミナー「Wild meæt Zoo ～身近な自然と動物園をつなぐ新たなカタチ～」
 - ・2019年10月4日（金）、地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）にて開催

- ・ゲスト：伴和幸さん（大牟田市動物園）

●情報発信

1) ニュースレター

- ・ニュースレターを2回（第47号、48号）発行した。
- ・第47号発行（2019年4月）（特集その1：エンリッチメント大賞2018表彰式・受賞者講演会開催報告、その2：佐渡友陽一×牧慎一郎天王寺動物園長クロストーク報告 いい動物園を生み出す市民の支援と共感の力）
- ・第48号発行（2019年10月）（特集その1：エンリッチメント大賞2019発表、その2：落合知美 国際エンリッチメント会議が日本にやってきた！）
- ・以上を市民ZOOネットワーク正会員およびサポーター（正会員21名、サポーター206名、2020年3月31日時点）、全国の主要な動物園・水族館（約170園館）、その他関係者に送付した。

2) メールニュース

- ・電子メール版を月1回配信した

3) WEBサイト／Facebook ページ

- ・トピックス、動物園関連研究会情報など随時更新し、情報提供をおこなった。

4) 取材対応等

動物園等に係る取材に対応した。

5) その他

新規の著作物発行等は、特になかった。

●講演

2019年度は特に実施しなかった。

4. 人材育成事業

動物園等に関心を有する学生等に対して適宜情報提供等をおこなうとともに、研究会(ICEE およびSAGA)への参加にあたって交通費補助を行った。